



エコ・ファーストの約束(更新書)

環境先進企業としての地球環境保全の取組み

平成28年12月1日

環境大臣 山本 公一 殿

積水ハウス株式会社
代表取締役会長 兼 CEO

和田 勇

積水ハウス株式会社と積水ハウスグループ各社は、最も多くの住宅を供給する企業としての社会的責任を踏まえ、法令遵守を徹底するとともに、環境配慮を通じ積極的に社会に貢献するため、以下の取組みを進めてまいります。

1. 家庭部門及び事業活動に伴うCO₂排出量削減を積極的に推進します

- ∴ 快適でエコな暮らしの提案と環境配慮型住宅の普及を通じて、積水ハウスの戸建住宅・賃貸住宅について2030年までに国の目標である「ストックまで含む家庭部門の1次エネルギー消費の27%以上(2013年比CO₂削減39.3%相当)削減」を目指します。
- ∴ 戸建住宅事業では、快適で光熱費メリットが大きいZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)比率80%以上を2020年までに達成することを目指します。
- ∴ 賃貸住宅事業では、入居者の快適性と環境配慮を両立させるシェアマンションの普及を通じて、取り組みが遅れている賃貸住戸のエネルギー消費削減を推進します。
- ∴ リフォーム事業では、省エネ改修を推進し、特に戸建住宅においては、快適で健康寿命を延ばし、エネルギー消費を削減する省エネリフォームを推進します。
- ∴ 分譲事業では、先進技術を用いることで安全安心に暮らせ、豊かなコミュニティを持つスマートコモンシティの考え方により、街区全体でエネルギー消費の少ないまちづくりを推進します。
- ∴ マンション事業では、高断熱、省・創エネ設備機器を積極的に導入したグリーンファーストマンションにより、新築マンションのエネルギー消費削減を推進します。
- ∴ 都市再開発事業では、オフィス・ホテルなど全ての物件で環境に配慮した開発を進め、非住宅建築物においてもエネルギー消費削減を推進します。
- ∴ 国際事業では、各国の状況を踏まえつつ、日本の優れた環境技術を用いた環境価値の高い開発を世界に広めます。
- ∴ 設計・営業などにおけるグループ全体の事業活動からのCO₂排出量を、(一社)プレハブ建築協会で定めた2010年度比で2020年10%削減の目標値を上回るよう、省エネエアコンやLED導入及びエコカー導入により積極的に推進します。

2. 生態系ネットワークの復活を積極的に推進します

- ∴ 自然の循環と生態系を守りながら、自然資本を持続的に利用して、豊かで心地よい暮らしを実現できる社会を目指します。
- ∴ 生物多様性の保全のため、鳥や蝶などが好む、地域に根ざした在来種中心の植樹「5本の樹」計画を住宅の庭づくりやまちづくりを通して積極的に推進します。2020年には2001年の事業開始からの累積植栽本数1500万本を目指し、緑豊かな環境(グリーンインフラ)の構築を推進します。
- ∴ 賃貸住宅における「シェアメンガーデنز」や戸建分譲住宅におけるまちなみ評価制度「コモンズ」の普及などにより、グループ全体で快適で、緑化率に配慮し、資産価値を高めるまちづくりを推進します。
- ∴ 「木材調達ガイドライン」10の指針により違法伐採や自然生態系の喪失を防ぐとともに産出地域経済の自立にも配慮し、サプライヤーやNGOと協働して、認証材を始めとする持続可能な木材「フェアウッド」の導入を進めます。
- ∴ 全ての生物の生存の基盤となる水環境の保全に向けて、事業過程において水資源の効率的な使用を進めます。住宅供給においても節水型機器の提案を高めるとともに、敷地緑被率向上による雨水浸透を積極的に推進します。

3. 資源循環の取組みを積極的に推進します

- ∴ 暮らしの価値を向上させ、住宅の価値を高める提案型リノベーションや、まちぐるみ・コミュニティを含めた再生を推進し、社会資産の価値向上に努めます。
- ∴ グループ全体のゼロエミッションを加速させるために、資源循環センターを活用した新たな回収システムの整備を進めます。
- ∴ 生産・施工・アフターメンテナンス時のゼロエミッション(埋め立てゼロ、熱回収を伴わない焼却ゼロ)を継続するとともにマテリアルリサイクル率90%を目指し、今後、増大する既存住宅のリノベーションに伴う廃棄物については、マテリアルリサイクル率70%を目指します。
- ∴ ITを活用したゼロエミッションシステムにより廃棄物発生量を予測し、廃棄物の適正処理と削減に向けた取組みをより円滑に推進します。

積水ハウス株式会社は、上記取組みの推進状況を確認するとともに、その結果について環境省への報告及びサステナビリティレポート(環境・CSRの報告書)による公表を行ってまいります。また、「エコ・ファーストパーク」や「住ムフムラボ」などを通して環境リテラシーの普及に努めます。さらに、環境教育プログラム「Dr.フォレストからの手紙」、「いきもの調査」、「いえエコロジー」など環境についての啓発及び調査を積極的に推進します。